

Japanese Utility Model Laid-Open Publication No. 62-125723

Laid-Open Date: August 10, 1987

Japanese Utility Model Application No. 61-12291

Filing Date : January 30, 1986

Inventors : Akinari MUNEOKA

Takuji MAEKAWA

Applicant: Toppan Insatsu Kabushiki Kaisha

PAPER BOX

A paper box of the present invention includes a paper box main body (A) comprising a front board (1), both side boards (2), (2), a back board (3), a top board (5) and a bottom board (6), and a board (B) to be engaged with the main body (A). The board (B) comprises a front wall (11) and both side walls (12), (12) connecting to the both sides of the front wall (11), and is folded into a U-shape and brought into close contact with the front board (11) and the side boards (2), (2) of the main body (A). A dotted cutting line (11a) having a upwardly-convex configuration is formed on a top center portion of the front wall (11). A concave pit part (14) which locates lower from a periphery part is formed on an upper side portion from the cutting line (11a).

THIS PAGE BLANK (USPTO)

公開実用 昭和62- 125723

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭62- 125723

⑬ Int.Cl.*

B 65 D 17/28
5/22

識別記号

厅内整理番号

6927-3E
6540-3E

⑭ 公開 昭和62年(1987) 8月10日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 紙 箱

⑯ 実 願 昭61- 12291

⑰ 出 願 昭61(1986) 1月30日

⑲ 考 案 者 宗 岡 明 成 東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

⑳ 考 案 者 前 川 卓 二 東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

㉑ 出 願 人 凸版印刷株式会社 東京都台東区台東1丁目5番1号



明細書

1. 考案の名称

紙箱

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 正面板(1)、両側面板(2)(2)、背面板(3)と、上面板(5)、底面板(6)からなる紙箱本体(A)内の前記正面板(1)、両側面板(2)(2)の内面にコの字型に密接して内装する前壁(11)とその両側に備える側壁(12)からなる嵌合板(B)を備えた紙箱において、前壁(11)上側中央部に、上方に凸型状の刻切線(11a)を設け、前壁(11)の前記刻切線(11a)より上側部に、下側部より低い凹陷部(14)を設けたことを特徴とする紙箱。

(2) 前記刻切線(11a)の両端部(11b)より上方に垂直方向に型付け線(13)を刻設して凹陷部(14)を形成する実用新案登録請求の範囲第1項記載の紙箱。

(3) 前記刻設線(11a)の両端部(11b)より上方及び下方に垂直方向に、断面V字型の刻



設線（16）を設けて、凹陥部（14）を形成する実用新案登録請求の範囲第1項記載の紙箱。

3. 考案の詳細な説明

（産業上の利用分野）

本考案は、菓子等の食品あるいはその他、日用品を収納包装するための紙箱であつて、紙箱の正面板及び側面板に切り離しミシン目を設けた紙箱本体と、該紙箱本体内に内装する紙箱本体の上蓋を係合する嵌合板を備えた紙箱に関し、前記ミシン目を切り離して形成する開閉可能な蓋部を係合するための嵌合板の改良に関する。

（従来の技術）

従来の開閉可能な上蓋を備えた紙箱の内部に装着する嵌合板は、蓋部の正面下端を前記嵌合板の差し込み用切り込み部に差し込むことにより係合できるようになっている。

しかしながら、切り込み部に対して上側部と下側部の嵌合板に段差がないため、蓋部の下端を差し込み難い欠点があつた。

（考案の目的）



本考案は、上記不都合を解消するためのものであり、差し込み用の切り込み部に段差を設け、蓋部正面部の下端が容易に嵌合できるようにすることを目的とするものである。

(考案の構成)

本考案は、第1図、正面板(1)、両側面板(2)(2)、背面板(3)と、上面板(5)、底面板(6)からなる紙箱本体(A)内の前記正面板(1)、両側面板(2)(2)の内面にコの字型に密接内装する前壁(11)とその両側壁(12)からなる嵌合板(B)を備えた紙箱において、前壁(11)上側中央部に、上方に凸型状の刻切線(11a)を設け、前壁(11)の該刻切線(11a)より上側部を下側部に対して低い凹陥部を設けたことを特徴とする紙箱である。

本考案紙箱を実施例に従つて詳細に説明する。

第2図は、本考案における紙箱本体(A)の展開図であり、正面板(1)左右両側に側面板(2)(2)、一方の該板(2)に背面板(3)、他方の該板(2)に貼着片(4)を連設し、前記正面



板(1)上下に、それぞれ上面板(5)、底面板(6)を連設し、該板(5)(6)のそれぞれ上下外側に差し込み片(5a)(6a)を連設し、前記側面板(2)(2)のそれぞれ上下に折り込み片(7)(8)を連設し、正面板(1)と両側面板(2)(2)及び背面板(3)と貼着片(4)の上側部に、それぞれ切り離し開封用のミシン目(9)及び折り曲げミシン目又は刻設線(10)を連続して設けたものである。

第3図は、紙箱本体(A)に内装する、嵌合板(B)の一実施例の展開図であり、前記紙箱本体(A)の正面板(1)に密接して重ね合わせる前壁(11)と、該前壁(11)上側縁の中央に必要に応じて凹部(14a)を設け、該前壁(11)の左右両側に、前記紙箱本体(A)の側面板(2)(2)に密接して重ね合わせる側壁(12)(12)を折目(12a)を介して連設し、前壁(11)の上側中央部に、前記紙箱本体(A)の正面板(1)の上蓋部(1a)の正面板(1)下端相当部に嵌合する、上方に凸形状の切り込み部(1)



1a) を設け、該切り込み部(11a)の両端部(11b)より上方に垂直方向に型付線(13)を刻設して凹陷部(14)を形成するものである。そして、該切り込み部(11a)上側の前壁(11)を下側のそれよりも裏面側に低く、段差を設けるものである。前壁(11)両側折目(12a)上側の側壁(12)側には、切り込み線(17a)を刻切して、上蓋部(1a)内部に嵌合する凸部(17)を設ける。他の実施例として、例えば第5図、前記刻切線(11a)の両端部(11b)より上方及び下方に、垂直方向に深度の浅い断面V字型の刻設線(16)(16)を設け、切り込み部(11a)より上側前壁(11)を裏面側に押し込み、点線のように凹陷部(14)を設けるものである。

本考案紙箱の組み立て方法を説明すれば、第2図、紙箱本体(A)の展開図において、正面板(1)及び側面板(2)(2)裏面に、第3図、嵌合板(B)の前壁(11)及び側壁(12)(12)をそれぞれ対応するように重ね合わせて



貼着するものである。この場合、凹陥部（14）を箱内方になるように重ね合わせ、刻切線（11a）の両端部と、紙箱本体（A）の正面板（1）にある切り離し用ミシン目（9）とを一致するように重ね合わせる。そして、紙箱本体各板を形成折り目を介して折り曲げ、背面板（3）の外側端部（3a）と貼着片（4）とを貼着して、筒状体を形成し、下側折り込み片（8）（8）を内方にし、底面板（6）を折り目を介して折り曲げ、差し込み片（6a）を差し込んで底部を形成して、本考案紙箱を形成する。

本考案の他の実施例として、断面V字型刻設部（16）を形成した嵌合板（B）を使用する場合は、刻設部（16）のV字型の突出側を箱本体内側にして、嵌合板（B）を箱本体（A）の正面板（1）内面に重ね合わせ貼着するものである。

次に、前記組み立てた紙箱の上側開口部より、被包装物品を収納した後、上側折り込み片（7）（7）を折り目を介して内方に折り曲げ、上面板（5）を折り目を介して折り曲げ、差し込み片



(5a) を箱内に差し込み、必要に応じて貼着して施封し、包装を完了する。

(考案の作用)

本考案によれば、第1図、切り離し用ミシン目(9)より開封した後の該紙箱の嵌合板(B)には、凹陥部(14)と係止片(15)との間に僅かの間隙(紙厚さよりも少ない間隙)を備えており、開封後の紙箱の正面板(1)の蓋部側(1a)の下端部をその間隙に容易に差し込み固定することが可能となるものである。

(考案の効果)

本考案は、紙箱の正面板及び両側面板にあるミシン目を切り離して開封し、背面板のヒンジ折り目を介して開閉できる形式の紙箱であつて、開閉蓋部の差し込み部への差し込み施封がきわめて容易にできる長所を有するものである。

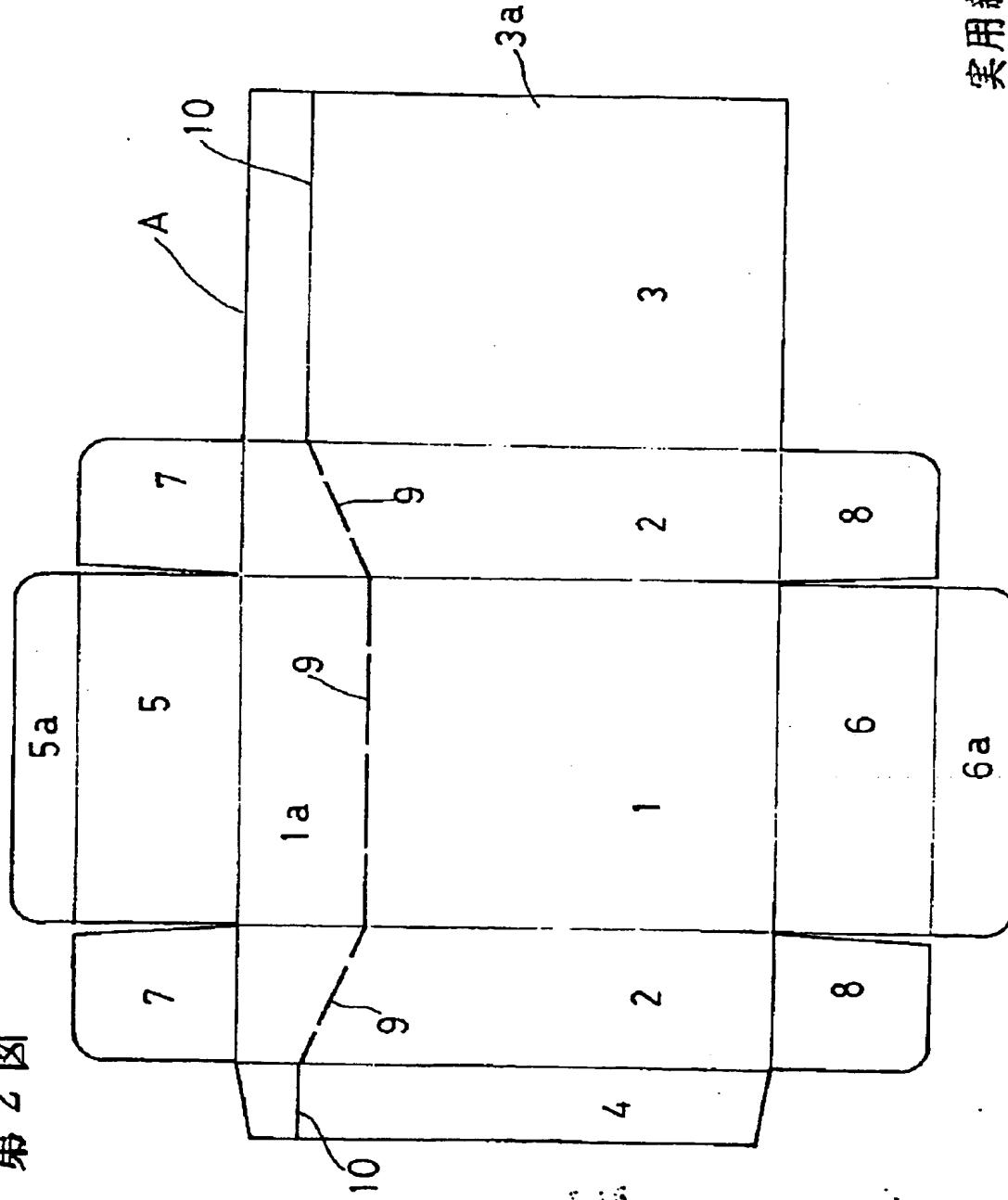
4. 図面の簡単な説明

第1図は、本考案紙箱の斜視図、第2図は、本考案における紙箱本体の展開平面図、第3図は、本考案紙箱の内装嵌合板の一実施例の展開平面図、

公開実用 昭和62-125723

実用新案登録出願人
凸版印刷株式会社
代表者 鈴木和夫

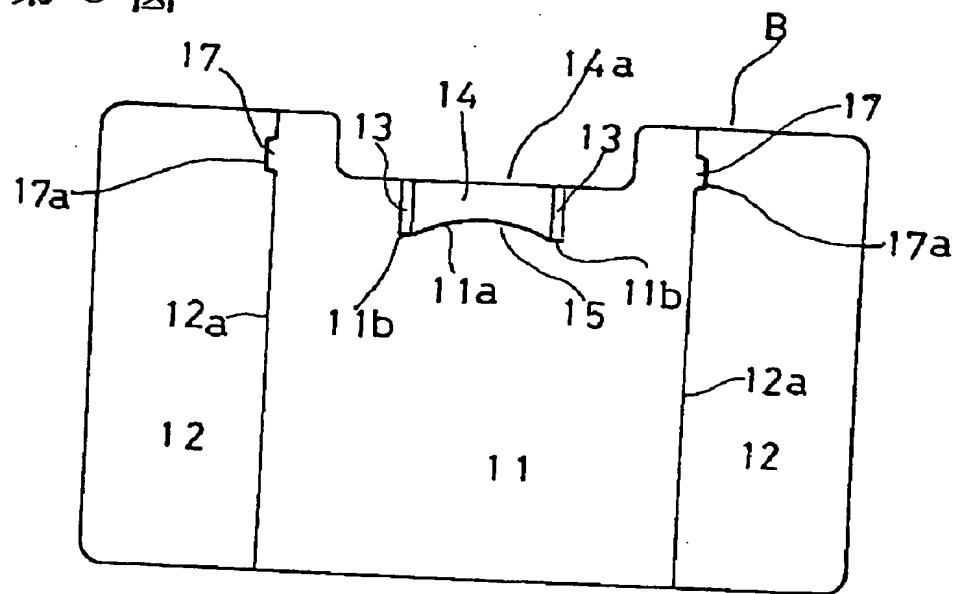
第2図



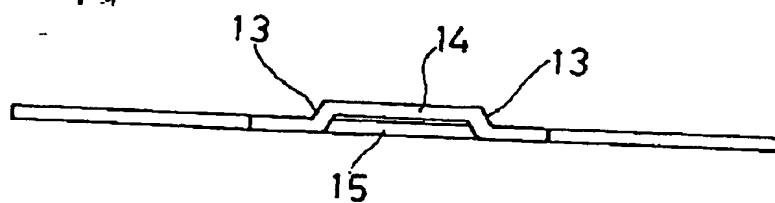
293

実用62-125723

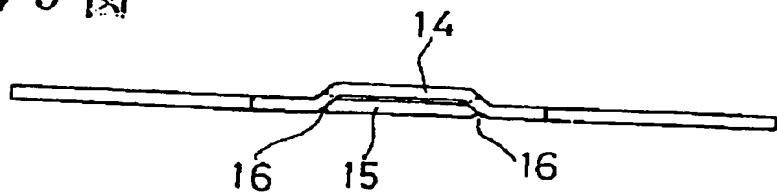
第3図



第4図



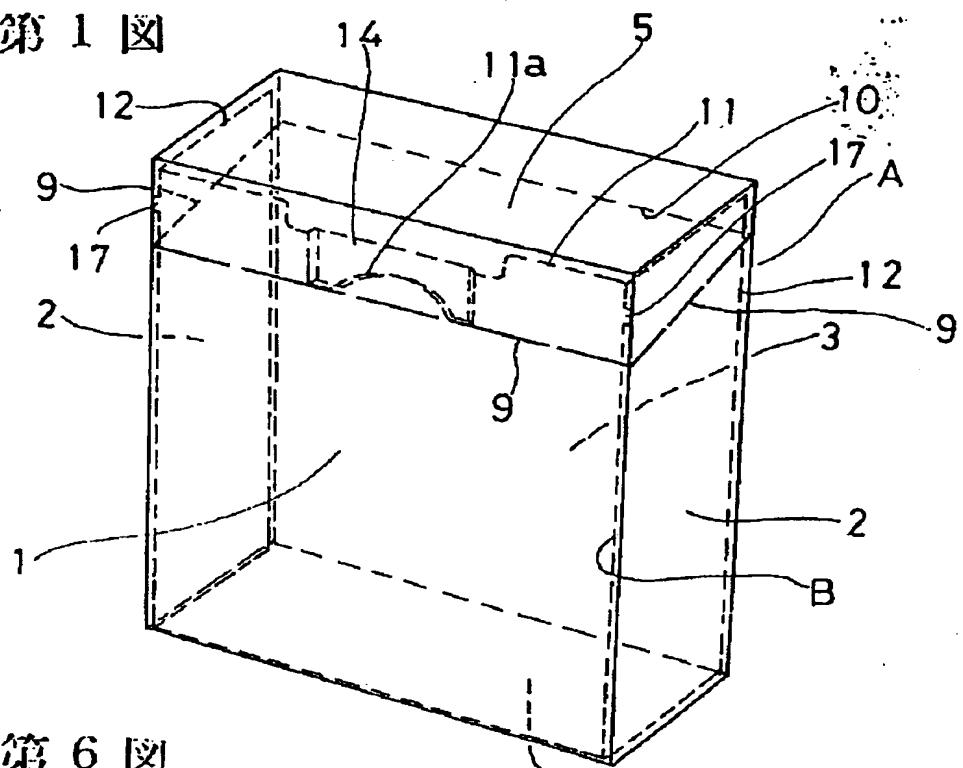
第5図



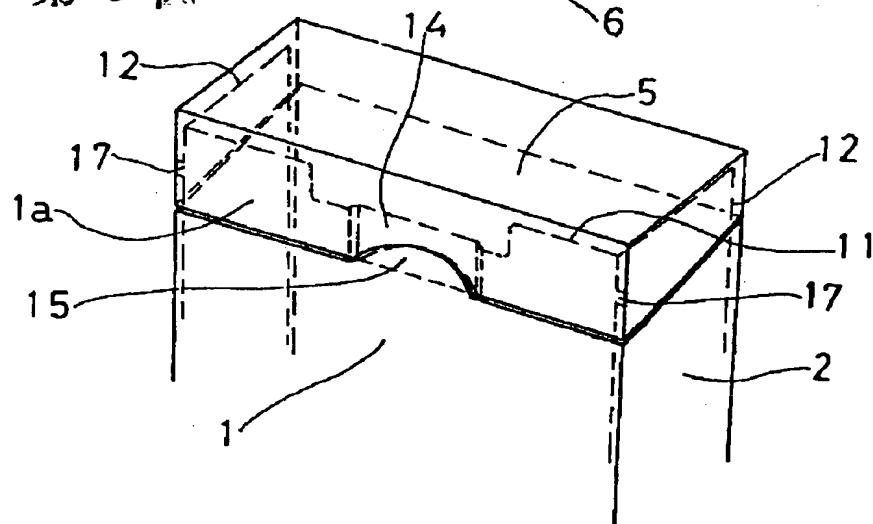
実開62-125723

294 実用新案登録出願人
凸版印刷株式会社
代表者 鈴木和夫

第1図



第6図



実開62-125723
実用新案登録出願人
凸版印刷株式会社
代表者 鈴木和夫
292



第4図は、第3図の平面図、第5図は、本考案の他の実施例における平面図、第6図は、開封後の本考案紙箱の施封状態斜視図である。

1・・・正面図	2・・・側面板
3・・・正面板	5・・・上面板
6・・・底面板	9・・・ミシン目
10・・・彫刻設置部	11・・・前壁
12・・・側壁	12a・・・折目
14・・・凹陷部	15・・・係止片
17・・・凸部	17a・・・切込線

実用新案登録出願人

凸版印刷株式会社

代表者 鈴木和夫